

区政への一般質問 (要旨)

全文は、板橋区議会ホームページに掲載します



田中しゅんすけ
(自民党)

いじめ防止対策を問う

【質問】①いじめが芽の段階の内に学校の現場で対応できる体制を整えるべき。②いじめ防止対策推進法の理念に基づき議会からの提案を参酌し、条例として「地方いじめ防止基本方針」を定めるべき。

【区長】①教育委員会の組織と各種相談、支援事業をベ이스としながらオール板橋で対応する体制の整備に努める。【教育長】②国・都の基本方針を受け、区の基本方針を策定する。区の条例・方針は、議会提案を踏まえ、実態に即した実効性の高い内容とする。

【質問】①25年度に試行として開始した本事業に対する区長の見解は。②私立保育園における実施のスケジュールは。

【区長】①体験事業が日々の子育てにいかされることを期待する。②実施に向け、私立保育園園長会で働きかける。

補助87号線の進捗状況を問う

【質問】延長930メートルの計画道路のうち、帝京大学前の御成橋から稲荷台の区間は双方通行ができるよう、整備せよ。また、この区間以外の整備スケジュールは。

【区長】帝京大学前300メートルの区間は26年度に着工し、30年度末に双方方向通行道路として完成予定。残りの区間は次期計画での位置付けを今後検討する。

健康長寿医療センター移転に伴う横断歩道の整備を問う

【質問】センターの新しい正門前には横断歩道が1本新設されただけで、信号機などの整備はない。区は都に働きかけを。

【区長】信号機の設置を含めた安全対策を板橋警察署などへ要望する。

東京オリンピックに向けた取り組みについて問う

【質問】りんりんちゃん3つのセットを「金りんちゃん」



坂本あずまお
(自民党)

新設される浮間舟渡フットサルパークで大会開催を

【質問】①スポーツ文化を醸成するきっかけとして、区内団体、区民と共同でつくるフットサル大会の開催を。②北区と協力し、初めての人も参加しやすいイベントを。



スポーツに興じる子どもたち

【区長】①26年4月にフットサル大会を開催する予定。②北区との共催で、実行委員会による大会の運営を考えている。大会イベントでは、プロ選手による小学生のサッカー教室の実施なども検討している。

オープンデータ化の早急な実施を

【質問】①行政が公共データを二次利用しやすい形で積極的に公開するオープンデータ化のメリット・不安についての区の認識は。②区民向け公開マップのどこナビいたばしについて、二次利用可能な形でデータ公開を。③他区に先駆けて公開可能な情報からオープンデータ化の実施を。

【区長】①オープンデータ化は地域の活性化やビジネスチャンスの拡大、行政の透明性・信頼性の向上につながる一方、プライバシーの侵害、データの鮮度・確度に対する懸念もある。十分留意しながら取り組む。②どこナビいたばしなど既に電子化されているデータについては可能な限り早期の公開実現をめざす。③機先を制して公開可能な情報から実施するなど速やかに取り組む。

電子的提供に関する指針の整備を

【質問】区が所有する情報についての電子的提供に関する指針の整備を。

【区長】国のガイドライン、法整備の動きを注視し、指針の整備を検討していく。

未来を担う世代のアイデアを活かして

【質問】客観的なデータや情報を事前に準備、提供したうえで現実に即したアイデアを提案してもらう手法(アイデアソン)を用い、子ども



桜井きよのり
(自民党)

小豆沢温水プールの早期建設を

【質問】2020年のオリンピックが決まり、プロのバスケットボールやレスリング会場として脚光が当たる小豆沢体育館に温水プールの早期建設を。

【区長】施設整備の必要性は十分認識しているが、財源確保に考慮する必要がある。28年度の次期基本計画にプール棟の整備を位置付けていく。

子どもたちの学力について

【質問】①区内の子どもたちの学力の現状は。②学力向上の取組みは。

【教育長】①25年4月実施の全国学力・学習状況調査の結果によると、本区は全国平均とほぼ変わらないが、都と比較すると下回っている。②つまり、まず、箇所に戻って学習するフィードバック学習方式を取り入れ、学習指導講師を配置し、個別指導や補助授業などへの支援を行っている。26年度からは夏季休業中の補習教

高齢者の就業援助について

【質問】①55歳からのアクティブシニア就業支援センター、60歳からのシルバー人材センターの就業実績は。②今後の高齢者就業援助の基本的な考え方、あるべき姿について区長の見解を。

【区長】①アクティブシニア就業支援センターでは設立以来延べ3万5千人が来所し、延べ1900人の就業実績がある。シルバー人材センターでは過去10年で延べ3万人の会員に対し、延べ2万人の就業を提供している。②区としても、高齢者就業の一助となるべく、指定管理者などにシルバー人材センターの利用を働きかけている。区は両センターを引き続き支援し、高齢者就業の促進に努める。

難病患者への支援について

【質問】国は難病患者の収入に応じて負担を求め見直し案をまとめている。区内の難病患者支援について答弁を。

【区長】特殊疾病医療費助成の認定患者数は3237人で、入院・外来医療費を国と都が2分の1ずつ負担している。区の負担はない。患者の自己負担については、重症認定者は無料であるが、その他の患者は階層区分などにより限度額が決められている。新制度の区負担については不明である。

【質問】客観的なデータや情報を事前に準備、提供したうえで現実に即したアイデアを提案してもらう手法(アイデアソン)を用い、子ども



田中いさお
(公明党)

区の災害対策について問う

【質問】①広域避難場所に指定されている荒川河川敷は液状化の危険がある。避難場所の細分化や、埼玉県戸田市からの代替地借入れなどで避難場所の確保を。②災害時にOB職員を活用するため、今後定年を迎える職員に災害時の雇用契約の希望を尋ね、希望する職員に担当可能な業務を確認して台帳の作成を。

【区長】①国土交通省に対し、液状化発生の可能性が高い箇所の把握および河川敷の安全性確保を要望する。②再任用任期を満了したOB職員を災害時に採用するには様々な課題を整理する必要があると考えるが、復興段階におけるOB職員の活用方法については研究していく。

マンション関連施策を問う

【質問】①大規模修繕が必要と考えられるマンションについて、区から積極的にアプローチを。②マンション住民によるマンション防災対策の計画化のために具体的な施策



なんば英一
(公明党)

区の障がい者施策を問う

【質問】①まえの福祉作業所の屋上、空調・給排水設備について改善を。②前野三丁目集会所は同作業所の施設に転用を。③6年後の障がい者

支援施設の利用者を推定すると定員が90名足りない。このため、26年に策定する第6期介護保険事業計画では、介護施設と障がい者施設の複合施設の取組みにチャレンジせよ。(7面に続く)